

令和7年度 第1回 座間味村総合教育会議 議事録

日 時：令和8年1月15日（木）14：00～15：30

場 所：座間味村役場3階 多目的ホール

出席者：宮里村長、垣花教育長

田中委員、与那嶺委員、普天間委員

糸嶺教育課長、松田総務課長、総務課 玉城

1. 開 会

（宮里村長）

これより令和7年度第1回座間味村総合教育会議を開催します。

皆様には日頃より教育行政の運営にご協力頂き心より感謝申し上げます。本村の小中学校に通う生徒の数ですが、阿嘉校と慶留間校の生徒数が減少傾向にあります。座間味村全体の人口においては、これまで概ね横ばいで推移してきましたが、昨年10月に実施された令和7年国勢調査では、令和2年の調査と比較して人口が減少する結果となる見通しです。今回の議題として報告を頂く座間味村立学校の適正規模・適正配置については、村の財政状況を抜きにして、子ども達にとってどうあるべきかをできるだけ早めにお示しする必要があります。教育委員の皆様ならびに教育長と連携して教育委員会で歩みを進めて頂きますようお願い致します。村政部局も連携して対応して参りますので、宜しくお願ひいたします。

2 議事

（1）報告及び協議事項

（宮里村長）

それでは次第に沿って議事を進めて参ります。阿嘉慶留間における学校適正規模に係る取り組み状況について教育課長よりお願いします。

①阿嘉慶留間における学校適正規模に係る取り組み状況について

（教育委員会 糸嶺課長）

教育委員会では、昨今の児童生徒数の減少や人材確保、財政の状況を鑑み、学区の現状や課題を整理し、将来における学校の適正規模・適正配置の考え方を示す『座間味村立学校 適正規模・適正配置に関する基本方針』を令和7年8月に取り纏め、公表しております。なお、基本方針は、令和7年1月に審議員10名による座間味村学校適正規模審議会にて議論して頂き、令和7年6月から7月にかけてパブリックコメントを実施したうえで取りま

とめております。

時間に限りがありますので、ある程度まとめてご説明します。基本方針 7 頁では過去ならびに今後数年の児童生徒数の推移をお示しております。村全体の生徒数は令和 5 年度まで概ね 80~100 名で推移しておりますが、それ以降は 70 名台への減少が見込まれます。10 頁では学校規模に関する現状と課題をまとめております。本村の各小中学校では、単学年での学級運営が難しく複式学級となっているほか、慶留間小中学校は、生徒数の半数以上が島外からの留学制度による生徒であります。留学制度は原則 1 年での入れ替えのため定着が難しい特徴を有しています。文部科学省の適正規模・適正配置等に関する手引きでは、一定規模の児童生徒集団の確保、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた居職員集団が配置されるのが望ましいと示されているところです。本村においては委員会と各学校において、複式改善担当職員配置や 3 校合同学習など、可能な限り子ども達のよりよい学習環境の確保に向けて取り組んでおりますが、多くの課題を有しております。11 頁から 12 頁にかけて、本村で検討し得る学校規模の適正化を図る手法をお示しております。特に 12 頁においては、学校規模の適正化が急務となっている阿嘉小中学校、慶留間小中学校の 2 校再編について、4 つのパターンでお示しております。

教育委員会では、本方針を公表したのち、阿嘉慶留間における学校適正規模に関するアンケートを実施し 74 件の回答を頂きました。阿嘉小中学校と慶留間小中学校のありかたについての設問では、73%が何らかの形で統合すべき、27%が現状のまま維持するべきとの結果となっております。

基本方針の 12 頁に記載の通り、学校適正規模の実施においては、子ども達や保護者、学校関係者や地域住民など様々な関係者に影響が及びますので、適切な情報提供や共有、意見交換等による合意形成が必要であります。基本方針公表後、令和 7 年 10 月に阿嘉区と慶留間区において、学校の未来を考えようと議論が行われております。教育委員会としては、本年 2 月に住民説明会を行う予定です。

報告は以上となります。

(宮里村長)

ご報告ありがとうございました。今のご報告についてご質問等があればおねがいします。

—質問なし—

ご質問が無いようですが、事務局から何かご意見ありますか。

(事務局・松田総務課長)

人口減少と学校適正化は切り離して検討する必要があると思います。人口

減少の部分では、現在、第3期人口ビジョン・総合戦略の策定に取り組んでおり、将来の人口減少に対してどのような方向性でどのような施策を打ち込んでいくか議論中です。学校適正化については、人口減少だからではなく、子ども達が学び成長していくためにどのような環境が望ましいのか考えていく必要があると思います。

(宮里村長)

事務局の意見に私も同じ考え方です。学校での学びは単に勉学だけに留まらず、一定の集団の中でお互い刺激しながら協力しあって成長する大切な場所です。人口減少だからではなく、それぞれの学校に通う子ども達にとって何が望ましいのかを議論していく必要があります。人口減少の部分は、阿嘉・慶留間に新しい住宅整備の検討や総務課で空き家の利活用に向けて進めていきますが、人口対策は5年～10年スパンと中期的に進めていく必要があります。学校適正化は現に差し迫っている課題ですので、しっかりと議論を進めていくために、村政部局として議論ができるような環境づくりにも対応していく必要があります。

(宮里村長)

議題は以上となりますが、これにて議事を終えさせていただきます。

追加で私の方よりお話をさせていただきます。去った12月議会で教育長人事について議会の同意を得ているところです。垣花教育長におかれましては、おそらく最後の総合教育会議となります。よろしければ垣花教育長よりお言葉を頂戴したいと思います。

(垣花教育長)

それでは、本日の総合教育会議が最後の出席となります。皆様には大変お世話になりました。改めてありがとうございました。

(2) 次回開催について

(事務局・玉城)

次年度の総合教育会議は来年の6月頃に予定します。開催日程が決まり次第、お知らせ致します。

3 閉会

(宮里村長)

以上で、令和7年度第1回座間味村総合教育会議を閉じます。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。